京都中央市場新聞

〈発行所〉
一般社団法人
京都市中央卸売市場協会
郵便番号　600-8847
京都市下京区朱雀分木町
京都市中央卸売市場
（関連11号棟２階）
電話　075－323－6777

市場活性化に向けて見学エリアの活用も
令和5年度京都市中央卸売市場協会定時総会開催

6月20日(火)、関連10号棟大会議室で、令和5年度京都市中央卸売市場協会定時総会が開催され、役員、事務局の合計25名が出席した。

内田隆会長は開会挨拶で「水産棟の工事が終わり、青果のI期工事のために解体が行われている。ついに始まったなと実感している。人の手を介さずに物を運べる施設としたいが、できる範囲で考えていきたい。当協会は、昨年度もコロナ禍の規制の影響を受け、イベント開催ができないことや駐車場の利用が見込みよりも少ないことなど、苦戦している。今後、人の流れが増えることで会計も挽回していきたい」と述べた。次の祝辞では、顧問の古井幸生京都市中央市場長が「市場協会は、組織や財務会計などの改革に積極的に取り組まれてきた。開設者としても財務会計の改善や組織の一層の活性化等に寄与していく。今年度より流通促進事業の移管を提案したところ、快く引き受けていただいた。感謝申し上げる。新しくできた見学エリアやあじわい館を活用していただきたい」と語った。同じく顧問の下村あきら京都市会議員は「4月の統一地方選挙で、京都市会の議会運営は厳しい状況になった。開設者と市場協会は車の両輪であり、今後も微力ながらその後押しをしていく」と決意を述べた。

議事では、池内正貢専務理事と阿部吉宏事務局長が議案説明を行った。第1号議案は令和4年度事業報告及び決算報告で、金森勝則監事が監査報告を行った。第2号議案の新役員の承認では、上田和成大京魚類株式会社代表取締役社長が副会長に選任された。報告事項では、令和5年度事業計画・予算と令和5年5月までの事業実施状況が説明された。すべての案件が満場一致で承認された。

閉会の挨拶では、勝村一夫副会長が「政府はコロナ禍が終わったような感覚で動いているが、我々中小企業はこれから本当に厳しい時期になってくる。ここを踏ん張りどころとして、中央市場も頑張っていかねばならない」と述べた。

内田隆京都市中央卸売市場協会会長の開会挨拶

古井幸生京都市中央市場長の祝辞

京都青果協会 総会

6月13日(火)、天ぷら・天毛で、京都青果協会の通常総会及び懇親会が開催された。総会では、内田隆会長(京都青果合同株式会社代表取締役社長)が議長となって進行した。議案は、①令和4年度収支決算報告、②役員の改選、③令和5年度収支予算及び赤字対策、④食彩市の青果物即売、⑤令和5年度活性化推進事業計画で、いずれの案件も提案通り承認された。

続いて懇親会が行われ、内田会長は開会の挨拶で「京都市場では、物流の2024年問題や生産者との価格転嫁問題を抱えるなか、青果棟の工事が始まる。人手不足の問題もあり、省力化を図った市場となるよう仲卸の皆さんと力を合わせて進めていきたい」と述べた。その後、来賓の古井幸生京都市中央市場長、白波瀬誠京都中央信用金庫理事長、今枝徳蔵元京都市会議員が祝辞を述べた。

祝宴は、久世明副会長の乾杯の発声で始まり、上七軒の芸妓・舞妓の舞の鑑賞など和やかな雰囲気のなか、中川恵司副会長の中締めで終了した。

京都水産協会 総会

7月4日(火)、六盛にて、令和5年度京都水産協会の総会及び懇親会が開催された。総会では、勝村一夫会長(京都全魚類卸協同組合理事長)の挨拶のあと、①令和4年度事業・決算報告、②令和5年度役員改選、③令和5年度事業計画・収支予算について審議され、全会一致で了承された。

総会に続いて開催された懇親会では、勝村会長が「これからも厳しい時期を迎えるが、何とか耐え忍び、皆さんと一緒に知恵を出し合い、協力して組合運営をしたい」との挨拶があった。来賓の古井幸生京都市中央市場長と白波瀬誠京都中央信用金庫理事長からも祝辞があった。

その後、浅見直幹常任理事の乾杯の音頭で宴会が始まり、組合員が相互に懇親を深める中、上田和成副会長の中締めで終了した。

仲卸組合をはじめ、市場内の団体で総会開催

5月30日(火)、京都市中央市場の水産、青果の仲卸4組合の総会が開催された。主な議事は、理事長の開会挨拶、令和4年度の事業報告及び収支決算報告、役員改選、令和5年度の事業計画及び予算審議等だった。新型コロナウイルス感染症が五類に移行されたことで、これまで出席人数を制限していた団体も組合員全員の出席となったほか、古井幸生京都市中央市場長をはじめ開設者も出席した。

【京都塩干魚卸協同組合】

午前11時より、第61期通常総会が開催された。辻泰三理事長は「総会にご出席賜り誠にありがとうございます。本日の議案は、担当役員から詳しく説明させていただく。慎重な審議をお願いしたい」と挨拶した。

【京都全魚類卸協同組合】

午前11時30分より、第67期通常総会が開催された。勝村一夫理事長は挨拶にて「コロナ禍の影響で厳しい状況が続いており、今後も働き方改革関連法によるトラック輸送の2024年問題が迫っている。これまでどおり魚が届くのか等、開設者も含めて検証を始めなくてはならない」と語った。

【京都中央市場青果卸売協同組合】

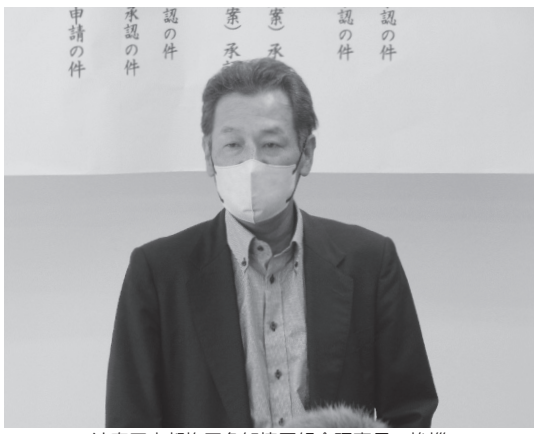
午後1時30分より、第41期通常総会が開催された。中川恵司理事長は開会の挨拶で「いよいよ青果棟の整備工事が始まり、開設者・卸・仲卸が連携を強めて最善策を講じていかなければならない。そのためには、まず青果仲卸としてまとまることが必要なので、皆さんのご協力をお願いしたい」と述べた。

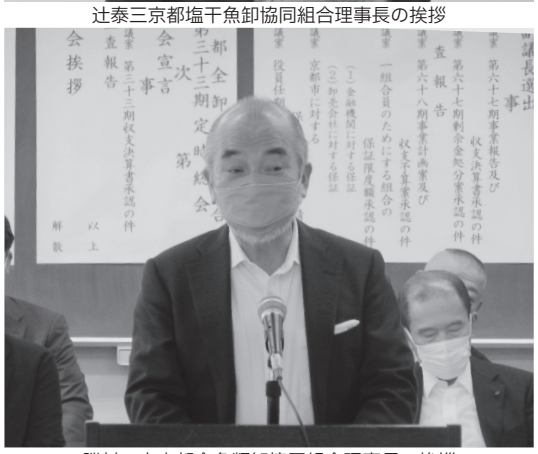
【京都野菜卸売協同組合】

午後2時より、第30期通常総会が開催された。久世明理事長は「入荷量の減少、高齢化、後継者の問題など様々な課題を抱える中、青果棟の整備工事が始まる。より良い商いができる使い勝手の良い施設となるよう、皆さんと意見交換しながら進めていきたい」と挨拶した。

【綜合・関連】

京都中央綜合食品協同組合（原田光佑理事長）は、5月27日(土)に第55期定時総会を開催した。京都市中央卸売市場関連事業者連合会（澤田利之会長）は6月6日(火)に令和5年度定時総会を行った。


辻泰三京都塩干魚卸協同組合理事長の挨拶


勝村一夫京都全魚類卸協同組合理事長の挨拶

中川恵司京都中央市場青果卸売協同組合理事長の挨拶

久世明京都野菜卸売協同組合理事長の挨拶

夏休み子ども市場見学会開催

7月27日(木)と8月5日(土)、京都市中央市場で夏休み子ども市場見学会が行われ、あわせて19組の親子が参加した。同見学会の夏休み2回開催は、4年ぶりとなる。

気温が30度に迫る午前8時、参加者たちは水産棟に集合した。ガイダンスルームで説明を受けたあと、手指と靴の消毒を経て、鮮魚・塩干の仲卸店舗を見学した。子どもたちは珍しい魚に声を上げて写真を撮るなど、最初から市場らしさを満喫。そのあと、関連事業者店舗を10号棟から12号棟、仮設関連棟へと歩いた。塩干冷凍倉庫では、1階のマイナス8度のちりめんじゃこの冷凍庫を体験したあと、希望者のみマイナス25度の3階へ行った。加藤久雄京都塩干魚卸協同組合副理事長から「切り身や明太子は鮮度を保つために冷凍されている」という説明を受けた。その後、綜合食品店舗を見学した。

続いての青果部では、青果仲卸店舗と近郷野菜卸売場を見たあとに、9時半からの二次せり見学のためにせり台に上がった。参加者たちは、目利きのプロたちが食材に素早く価格をつけていく独特の迫力に圧倒された。その後、子どもたちは京都青果合同株式会社社員による模擬せり体験を行った。ローラーコンベアー上の果物の価格を1～5の手やりで当てるゲームで、当たったときは喜びの声が上がった。成績の良かった子どもから賞品のぶどうやパイナップルやスイカをもらい、保護者と一緒に笑顔になった。

最後に、京の食文化ミュージアム・あじわい館でアンケート記入を行い、見学会は終了した。

塩干冷凍倉庫の見学

青果部の模擬せり体験

水産物部・青果部 食品品質管理委員会総会

6月22日(木)、関連10号棟大会議室で、令和5年度水産物部食品品質管理委員会の総会が開催された。最初に、勝村一夫会長(京都全魚類卸協同組合理事長)から「中央卸売市場は食の要であり、当委員会は市場を支える大切な委員会である。慎重な審議をお願いしたい」と挨拶があった。

その後、令和4年度事業報告・収去検査の結果報告、収支決算報告、委員の変更、令和5年度事業計画・予算が提案され、すべて承認された。最後に、上田和成副会長の挨拶で閉会した。

6月26日(月)には、同会議室で令和5年度青果部食品品質管理委員会の総会が開催された。はじめに、内田隆会長(京都青果合同株式会社代表取締役社長)が「最近また、コロナの新規感染者数が増えており、皆さんも十分に気を付けていただきたい。昨年度までは講習会も視察もできなかったが、本年度は青果棟の改修工事も始まったため、先進事例を見に行きたい」と挨拶した。

その後、令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度事業計画及び予算が審議され、いずれも承認された。最後に、中川恵司副会長の挨拶で閉会した。

施設整備工事にも対応を 令和5年度衛生自治会総会

5月11日(木)、京都青果センター7階会議室で、京都市中央市場衛生自治会通常総会が開催され、4年ぶりに役員及び実行委員が一堂に会して審議を行った。

開会にあたり、内田隆会長が「衛生自治会は、京都市場内のごみ処理を担当している。ごみの減量や分別、リサイクルが進んでいるが、今後も衛生対策を進めていくので、皆さんのご協力をお願いしたい」と挨拶した。来賓の古井幸生京都市中央市場長は祝辞として「衛生自治会には、新しい水産棟の清掃や、施設整備に伴って出てきた大型ごみにも臨機応変に対応いただいている。市場の円滑な運営に欠かせない存在であり、皆さんに感謝申し上げる。引き続き、衛生的な市場を維持するため連携していきたい」と述べた。

議案は、令和4年度事業報告と収支決算報告、令和4年度監査報告、令和5年度事業計画・予算で、全会一致で可決された。最後に勝村一夫同会副会長が「衛生自治会は、市場内の総会でもっとも出席人数が多いと思う。それだけ重要な会であるため、今後も皆さんのご協力をお願いしたい」と挨拶を述べて閉会した。

新しい塩干卸売場に並べられた、秋・冬商品

塩干物商品展示会

7月11日(火)、水産棟の塩干卸売場で塩干物展示会が行われた。毎年、夏と冬に実施しており、今回からは新しい卸売場での開催となった。

会場には約40社が出展し、秋と冬に向けておすすめ種など多種多様な約1000品目の商品が並んだ。場内関係者は、商品を見ながら出展者の熱心な説明を受けた。

せり参加人資格認定証交付式・せり人登録証交付式

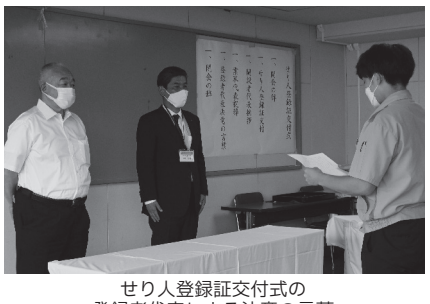
京都市中央市場の関連11号棟第一会議室で、せり参加人資格認定証交付式とせり人登録証交付式が行われた。対面での開催は、コロナ禍により4年ぶりである。

6月30日(金)のせり参加人資格認定証の交付式では、今年度の試験合格者らが出席した。合格者内訳は、京都中央市場青果卸売協同組合8名、京都野菜卸売協同組合2名、京都全魚類卸協同組合5名、京都塩干魚卸協同組合2名である。名前が読み上げられ、各組合の代表者が坂根正樹京都市中央卸売市場第一市場次長より、せり参加人認定証書と認定証が渡された。

その後、坂根次長より「合格おめでとうございます。当市場のせり率は、全国平均に比べて、青果・水産ともに高い。目の肥えた買出人が多く、その需要に答えるために、優れた技術が要求される。皆さんは専門知識と経験を積み重ねて、適正な価格形成を行うべく、自己研鑽に励んでほしい」と挨拶があった。

業界代表の久世明京都野菜卸売協同組合理事長は「皆さんは明日からせりに参加される。生産者の思いを受け止め、公正で時流にあった価格形成をしてほしい」と祝辞を送った。

7月31日(月)には、せり人登録証の交付式が行われた。合格者は、京都青果合同株式会社5名、株式会社大水京都支社1名だった。坂根次長から、各合格者に登録証とせり人章が手渡され、挨拶があった。業界代表の浅田佳史株式会社大水京都支社長が祝辞として「本日はおめでとうございます。これからは皆さんの行動で、京都市場や所属会社、全国の生産者や出荷者の業績が左右される。96年の歴史ある市場が更に発展するか、その逆になるかも皆さんの仕事にかかっている」と激励した。その後、登録者代表の中村公紀京都青果合同株式会社社員が決意の言葉を述べた。


せり人登録証交付式の
登録者代表による決意の言葉

京都市中央卸売市場第一市場　青果・水産卸売業者取扱高

令和5年4月　(単位:円)

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	4,068,778,044	91.3%	1,283,830,283	96.2%	5,352,608,327	92.5%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	868,713,202	100.1%	546,802,360	100.9%	1,415,515,562	100.4%
大水	629,581,635	100.4%	471,530,003	93.7%	1,101,111,638	97.4%
合計	1,498,294,837	100.2%	1,018,332,363	97.4%	2,516,627,200	99.0%

令和5年5月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	4,196,806,967	98.2%	1,262,685,257	105.9%	5,459,492,224	99.9%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	947,256,472	110.3%	533,708,355	104.8%	1,480,964,827	108.3%
大水	678,918,548	107.6%	510,703,640	109.8%	1,189,622,188	108.5%
合計	1,626,175,020	109.2%	1,044,411,995	107.2%	2,670,587,015	108.4%

令和5年6月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	3,877,564,518	97.8%	1,322,502,513	108.9%	5,200,067,031	100.4%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	897,859,388	108.7%	679,842,125	131.4%	1,577,701,513	117.4%
大水	637,362,183	104.5%	578,806,002	124.4%	1,216,168,185	113.2%
合計	1,535,221,571	106.9%	1,258,648,127	128.1%	2,793,869,698	115.5%

暑中お見舞い申し上げます

京都市中央卸売市場
一般社団法人
京都市中央卸売市場協会
会長　内田　隆
副会長　勝村一夫　副会長　中川恵司
副会長　上田和成　専務理事　池内正貢

京都市中央卸売市場
京果グループ
京都青果合同株式会社
代表取締役社長　内田　隆

京都市中央卸売市場
大京魚類株式会社
代表取締役社長　上田和成

京都市中央卸売市場
株式会社大水京都支社
代表取締役社長　山橋英一郎
執行役員支社長　浅田佳史

京都市中央卸売市場
京都中央市場青果卸売協同組合
理事長　中川恵司
副理事長　金森勝則
副理事長　谷口清茂

京都市中央卸売市場
京都野菜卸売協同組合
理事長　久世　明
副理事長　鈴木利典
副理事長　西尾晶彦

京都市中央卸売市場
京都全魚類卸協同組合
理事長　勝村一夫
副理事長　浅見直幹
副理事長　田村靖也

京都市中央卸売市場
京都塩干魚卸協同組合
理事長　辻　泰三
副理事長　加藤久雄

京都市中央卸売市場
京都中央綜合食品協同組合
理事長　原田光佑
副理事長　河原昭雄
副理事長　大谷啓子

京都市中央卸売市場
関連事業者連合会
会長　澤田利之
副会長　清水　仁　副会長　阿部　勲
副会長　宮崎晃行　副会長　青山武司

京都市中央卸売市場
京都青果物小売協同組合
理事長　石塚清三
副理事長　松田隆男
専務理事　木村信治
常務理事　中村清二

京都市中央卸売市場
京都水産物小売団体連合会
会長　岡本　勲
副会長　人羅賢司
副会長　河合孝治

京都市中央卸売市場
京都水産物商業協同組合
理事長　岡本　勲
副理事長　大隅勇三
副理事長　河合孝治
副理事長　番匠藤浩

京都市中央卸売市場
京都バナナ加工株式会社
代表取締役社長　内田　隆

京都中央信用金庫
理事長　白波瀬　誠
執行役員市場支店長　平林則明

株式会社リーフ・パブリケーションズ
Leaf
取締役会長　中西真也
代表取締役　高野和也
取締役副社長　羽間弘善
専務取締役　西澤邦広